

令和6年度＜後期＞生徒アンケートの結果と考察

年度替わり、アンケートの対象・生徒数等に違いはありますが、参考として以前のもの（R6前=7月・R5後=12月の数値）も記載しています。

目安として「前期」と比較して、5ポイント以上の増減がある項目には、◎（増）・▽（減）の印を付けています。

＜肯定率＝「思う」「だいたいそう思う」の割合の合計＞

項目 番号	質 問 内 容	肯定率		
		R6後期	R6前	R5後
①	自分なりに目標を持って学校生活を送っている。	87	86	85
②	中学校生活は楽しく充実していると思う。	94	90	91
③	学校行事、生徒会活動などに積極的に参加している。	90 ◎	73	89
④	進んで地域活動や行事に参加している。	68 ◎	56	68
⑤	学校は丁寧に、分かりやすい授業をしている。	87	89	96
⑥	家庭学習の習慣が身に付いている。	79	79	83
⑦	決まりを守り、規則正しい生活を送ろうと心掛けている。	91	94	94
⑧	自ら進んで挨拶をしている。	90	93	92
⑨	学校は、自分たちの間違った行動に対して、適切に指導している。	93 ◎	88	91
⑩	学校で、命の大切さや人権意識について学んだ。	93 ▽	98	96
⑪	家族に、学校での出来事をよく話している。	78	80	77
⑫	先生は、連絡・相談したことについて適切に対応してくれる。	90 ▽	95	88
⑬	自分の進路について、真剣に考えることができている。	72 ▽	77	87
⑭	部活動に進んで参加した。※部活動を引退した3年生も回答すること。	91 ▽	96	96

14項目中の8項目が肯定率90%に達しており、おおむね良好な結果と言えます。しかしながら全項目100%、そして肯定的な回答としても、確信を持って「思う」を選択する生徒が一人でも増えるよう、3学期、松柏中学校として最後を、生徒と共に大切に過ごしていきたいと思えます。

項目③の大幅な向上をうれしく思っています。学年問わず、2学期の各種行事に積極的に取り組んだり、それらにおける自己の役割をしっかりと果たしたりした生徒、楽しさや達成感・充実感を味わうことができた生徒が多くいたことの表れだと捉えています。

肯定率は向上したものの、**項目④**が最も低い結果となりました。統合による校区の広域化に伴い、中学生と地域との結び付きが希薄化するのではないかと懸念する声は様々なところで聞かれますが、これまで多くの場面で、地域に育てられてきた松柏中の子供たちです。保護者や地域の皆様を含め、我々教職員も子供たちと共に、改めて今後について考えていきたいと思っています。

高い肯定率ではありますが、**項目⑫**の減少は課題と捉えています。自由記述においても、友人との行き違い、友人関係の悩みを記載した生徒がいました。我々教職員は常に、一人一人を大切に、迅速かつ丁寧に対応することを心掛けていますが、「もっと、こうしてほしかった」と感じた生徒、そんな場面があったのだと思います。更なる充実した対応に努めます。

項目⑬については、今回も十分な肯定率を示したとは言えません。保護者アンケートの同様の項目においても最も低い肯定率でした。今後も進路学習等の工夫・改善、更なる充実に努めます。同様に、**項目⑤・⑥**「授業」「家庭学習」についても、本校の課題と捉えなければならないと考えています。生徒に、成長の自信と実力が付くための手立てを更に検討・実践していきますので、各御家庭での御協力をお願いします。